

2018年8月20日 報・連・相について

※一言要約： 「報・連・相」は、仕事が楽になるツールです。

報・連・相(ほう・れん・そう)は、「報告」「連絡」「相談」を分かりやすくほうれん草と掛けた略語。主としてビジネス(職場)において使われる。一般に、1982年に山種証券社長の山崎富治が社内キャンペーンで始めたことが広く知られている。(出展:Wikipedia)。

仕事は、一人で完結することは殆どなく、複数人で分担・実施していることが殆どです。従って、「情報の共有化」が必須となります。そして、その「情報」の鮮度・スピードが、極めて重要となってきます。

この情報発信の手段が、「報告・連絡・相談」となります。ですから、報・連・相も、その鮮度・スピードが重要なのは同じです。

また、報・連・相は、上司にするものだと思われがちですが、前述の様に、仕事を複数人で分担・実施していることによる情報共有化が目的であることからすると、その対象は上司だけではなく、同僚、部下、後輩も含まれます。

報告は、責任が重い仕事や危険をとまなう仕事など、細かい記述や承認が必要なものが主で、業務の一部として、義務化・しくみ化されています。

連絡・相談は、自分の仕事を楽にするために、適時、活用していくことをお勧めします。

連絡は、自分の周りの方たちへの心遣いの情報発信です。逆に言えば、自分がこの情報発信をしなければ、自分の周りの方たちからも自分への心遣いの情報発信をしてもらえなくなります。最新の情報が得られずに、自分の仕事に支障が出ることは多々あります。これはお互い様です。世の中、ギブ&テイクです。

相談は、自分が困っているとき、判断に迷っているときなどに、上司や周りの方たちへ相談することです。自分で考えて見いだせる結論もありますが、情報不足で判断できないことも多いものです。この時にNETや本で調べる(新しい情報を得る)ことも一つですが、上司や周りの方たちへ相談することが一番手っ取り早いです。これも、お互い様の一つですので、自分が相談されたときは、面倒がらずに真摯に対応してあげましょう。

このように、報・連・相はコミュニケーションを円滑にするツールであるとともに、仕事が楽になるツールです。